

# 前向きに生きる 名言集

## 「豆紙人形」創作 故マサコ・ムトーさん生誕100年

88歳で作り始めた「豆紙人形」が国内外で評判を呼んだ藤沢市のマサコ・ムトーさん(1913〜2008)。生誕100年を記念し、「マサコおばあちゃんの名言葉集」が4月上旬に発売される。マサコさんが描いた絵日記や日記の重版も決まった。

「片目しか見えない」と便利 嫌なこと半分しかみえない



マサコさんの豆紙人形を手にするヒロコさん

### 次女・ヒロコさん、メモまとめ出版

マサコさんは、現在の北九州市門司区で生まれ、22歳で飯山技師と結婚。夫の仕事で全国を転々とした後、藤沢市に定住。亡くなるまで約40年を過ごした。

専業主婦だったのが、88歳で夫と死別してからは創作への情熱を発揮。縁内蔵で右目を失明し、片足の曲がらない体でバステル画を習い始め、横浜市内や都内で個展を開いた。

88歳からは千代紙やお菓子の包紙紙、つまようじなどを使い、3、4寸の豆紙人形を製作。お月見や金魚すくい、駒つきをする贈り物の子どもや、みこしを担いだ男女たち、大正・昭和初期の情景を表した人形が人々を魅了し、欧米でもたびたび展示会が開かれた。

マサコさんは人形製作をした藤沢市の自宅で、日々感じたことをメモに走り書きしていた。

「片目しか見えない」と便利

入眠を繰り返していた病院の窓から見える空を描き、日々の思いを書き添えた絵日記も重版が決まった。2冊とも4月1日から書籍販売サイトなどで予約を受け付ける。ヒロコさんは「前向きに生きれば人生に輝く」といっている。いと伝えたい」と話している。

「マサコおばあちゃんの名言葉集」は新書判B5判、1千円。「要日記」は新書判B4判、1060円。問い合わせは2冊の発行元「海竜社」(03・55554424・9967-1)。



マサコさんの名言集(左)と絵日記

(大塚清博子)